

駒ヶ根市文化財

名称	中央アルプス駒ヶ岳
種別	地質・鉱物
指定	県・天然記念物(昭和 46・8・23)
所在地	赤穂 1、宮田村
所有者	国
説明	<p>長野県天然記念物の指定範囲は、千畳敷周辺 60ha である。</p> <p>中央アルプス(木曾山脈)は、北は経ヶ岳(2296m)から、南は恵那山(2191m)に至る花崗岩の山脈であり、駒ヶ岳の本岳(2956m)・中岳(2925m)・宝剣岳(2931m)が中心をなしている。</p> <p>昭和 26 年 8 月県立公園となり、昭和 42 年 7 月には、わが国最大の規模を誇る駒ヶ岳ロープウェイが開通し、およそ標高 2610m の千畳敷まで到達でき便利になった。</p> <p>駒ヶ岳の地質は、古生層を貫く伊奈川花崗岩と、これをさらに貫く木曾駒花崗閃緑岩(せんりよくがん)とからなっている。この千畳敷カールは氷河地形であり、その末端のモレーン(氷堆石)は貴重な存在である。</p> <p>千畳敷カールは豊富な高山植物で知られ、生育の旺盛なお花畑が展開しており、中央下部に剣ヶ池を有し、遊歩道も整備されている。駒ヶ岳一帯のお花畑には、キバナシャクナゲ・ハハコヨモギ・トウヤクリンドウ・コバイケイ・オヤマノエンドウなどたくさん見られる。またヒメウスユキソウは中央アルプス特産種で、コマウスユキソウとも呼ばれ親しまれ絶滅危惧種にも指定されている。哺乳類では、特別天然記念物のニホンカモシカが低山帯から高山帯に棲息している。近年、夏の時期に千畳敷カール周辺でニホンザルの集団も出現するようになり、高山帯の自然環境も変わりつつある。</p> <p>その他、昆虫類では県指定天然記念物のベニヒカゲやくモマベニヒカゲなどの高山蝶の姿をお花畑の中でみることができる。</p>



千畳敷カールとお花畑



ハハコヨモギ



ヒメウスユキソウ